



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)栗原高明  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)埜 勝宏 (TEL)03(3419)3011  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,916	0.7	203	123.5	208	115.1	151	161.8
29年3月期第3四半期	1,902	△5.6	90	△14.9	96	△31.3	58	4.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 162百万円 (136.9%) 29年3月期第3四半期 68百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	29.34	—
29年3月期第3四半期	11.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,412	1,823	75.6
29年3月期	2,237	1,677	75.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,823百万円 29年3月期 1,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	6.0	230	31.1	235	29.8	170	36.6	32.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 1社(社名)キャDEM株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	5,184,140株	29年3月期	5,184,140株
② 期末自己株式数	6,289株	29年3月期	6,244株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	5,177,861株	29年3月期3Q	5,177,896株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、金融資本市場の変動や海外における地政学的リスクの顕在化等の懸念材料があったものの、公共投資の拡充や設備投資の持ち直しを背景に、穏やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は1,916,334千円（前年同期比0.7%増）となり、営業利益が203,099千円（前年同期比123.5%増）、経常利益は208,486千円（前年同期比115.1%増）となりました。

投資有価証券売却益15,826千円、法人税、住民税及び事業税64,531千円、法人税等調整額7,864千円等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は151,916千円（前年同期比161.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

#### I プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、付帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。3Dプリンタ関連事業につきましては機器販売と造形サービスの相乗効果による提案を実施しております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

利益率の高い自社製品売上高が伸長したこと等により、この事業の売上高は440,318千円（前年同期比7.8%増）となり、営業利益は74,130千円（前年同期比84.3%増）となりました。

#### II エンジニアリング事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、受託開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、ソフトウェア分野からCAD技術を活かした設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

受注予定案件からの選択受注を行い、プロジェクト管理の徹底、契約条件の見直し等利益水準の向上に努めたため、この事業の売上高は1,460,909千円（前年同期比1.1%減）となり、営業利益は121,857千円（前年同期比185.3%増）となりました。

#### III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は15,107千円（前年同期比11.2%減）となり、営業利益は7,111千円（前年同期比10.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少（382,607千円から372,659千円へ）9,947千円、ソフトウェアの減少（103,642千円から75,021千円へ）28,621千円等があったものの、現金及び預金の増加（853,037千円から1,013,610千円へ）160,573千円、預け金の増加（156,410千円から190,834千円へ）34,423千円、ソフトウェア仮勘定の増加（6,841千円から44,684千円へ）37,843千円、投資有価証券の減少（263,965千円から259,945千円へ）4,019千円等により、前連結会計年度末に比べ175,048千円増加の2,412,387千円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少（56,589千円から42,690千円へ）13,898千円、賞与引当金の減少（58,829千円から34,742千円へ）24,086千円、役員退職慰労引当金の減少（10,558千円から6,694千円へ）3,864千円等があったものの、未払費用の増加（41,269千円から59,262千円へ）17,992千円、退職給付に係る負債の増加（192,229千円から212,857千円へ）20,627千円等により、前連結会計年度末に比べ28,440千円増加の588,713千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上151,916千円、その他有価証券評価差額金の増加（60,617千円から70,863千円へ）10,246千円により、前連結会計年度末に

比べ146,607千円増加の1,823,674千円となり、自己資本比率は75.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月13日公表の「第2四半期連結業績予想と実績値の差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	853,037	1,013,610
受取手形及び売掛金	382,607	372,659
商品及び製品	503	323
仕掛品	1,214	6,661
貯蔵品	4,500	3,618
預け金	156,410	190,834
繰延税金資産	26,156	17,123
その他	36,380	44,093
流動資産合計	1,460,809	1,648,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	118,687	115,783
土地	189,346	189,346
その他(純額)	1,406	2,676
有形固定資産合計	309,440	307,806
無形固定資産		
ソフトウェア	103,642	75,021
ソフトウェア仮勘定	6,841	44,684
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	113,703	122,925
投資その他の資産		
投資有価証券	263,965	259,945
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	110	65
繰延税金資産	56,015	53,510
その他	40,520	26,435
貸倒引当金	△7,923	△7,923
投資その他の資産合計	353,386	332,731
固定資産合計	776,530	763,463
資産合計	2,237,339	2,412,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,589	42,690
未払法人税等	33,020	42,573
前受金	92,134	102,760
賞与引当金	58,829	34,742
その他	114,968	144,835
流動負債合計	355,542	367,602
固定負債		
役員退職慰労引当金	10,558	6,694
退職給付に係る負債	192,229	212,857
その他	1,941	1,558
固定負債合計	204,729	221,110
負債合計	560,272	588,713
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	1,116,449	1,252,831
自己株式	△1,888	△1,910
株主資本合計	1,616,450	1,752,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,617	70,863
その他の包括利益累計額合計	60,617	70,863
純資産合計	1,677,067	1,823,674
負債純資産合計	2,237,339	2,412,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,902,106	1,916,334
売上原価	1,491,096	1,385,144
売上総利益	411,010	531,190
販売費及び一般管理費	320,154	328,090
営業利益	90,855	203,099
営業外収益		
受取利息	376	403
受取配当金	4,561	3,907
固定資産賃貸料	1,053	1,053
雑収入	180	140
営業外収益合計	6,172	5,504
営業外費用		
支払利息	119	116
雑損失	1	1
営業外費用合計	120	117
経常利益	96,907	208,486
特別利益		
投資有価証券売却益	11,412	15,826
特別利益合計	11,412	15,826
特別損失		
投資有価証券評価損	20,453	-
特別損失合計	20,453	-
税金等調整前四半期純利益	87,865	224,312
法人税、住民税及び事業税	20,316	64,531
法人税等調整額	9,512	7,864
法人税等合計	29,829	72,396
四半期純利益	58,036	151,916
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,036	151,916

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	58,036	151,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,420	10,246
その他の包括利益合計	10,420	10,246
四半期包括利益	68,456	162,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,456	162,162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の100%連結子会社であるキャDEM株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計 (注)
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	408,357	1,476,732	17,016	1,902,106	1,902,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	408,357	1,476,732	17,016	1,902,106	1,902,106
セグメント利益	40,227	42,717	7,910	90,855	90,855

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計 (注)
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	440,318	1,460,909	15,107	1,916,334	1,916,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	440,318	1,460,909	15,107	1,916,334	1,916,334
セグメント利益	74,130	121,857	7,111	203,099	203,099

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。